

多賀地区津波避難タワー概要

施設概要

- ・所在地 八戸市大字市川町字上大谷地45番3
- ・敷地面積 2,016.02㎡ ・延床面積 259.36㎡ ・収容人数 80人
- ・構造 鉄骨造5層2階建て ・避難階（2階）床面高さ 13.02m
- ・最高の高さ 19.93m
- ・総事業費 約2億円
- ・財源 東日本大震災復興交付金（効果促進事業） 8/10+地方負担（震災復興特別交付税措置）

仕様

○地上高

避難スペースは想定浸水深+4mの余裕高を確保。
床面高さ 13.02m

○漂流物対策

脚部鉄骨にアングル型緩衝材を設置。



想定浸水深
9.02m

○風雨、積雪対策

居室型避難スペース
北・東側に雪避けルーバーを設置。避難階段への積雪を防止。



○津波への対応

コンクリート基礎3.35m
基礎杭45mを打設

避難スペース仕様

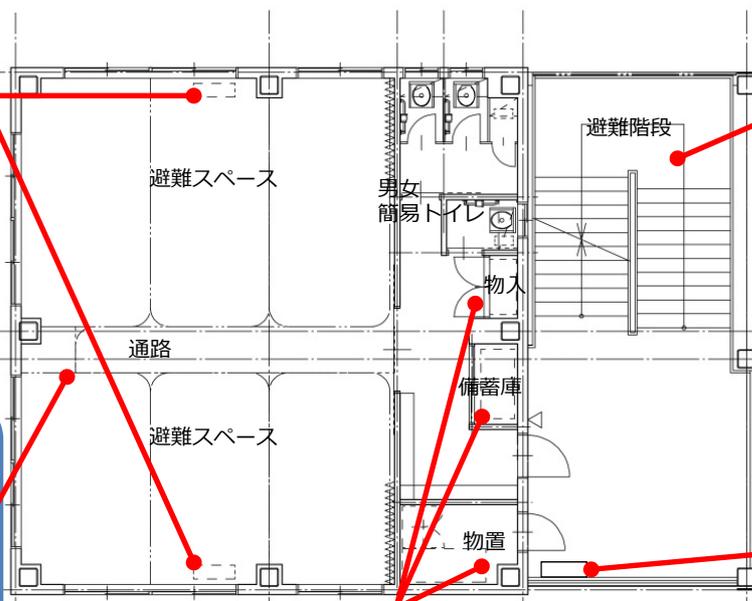
○冬季避難対策

FF式石油ストーブ
2基設置。



○プライバシー保護

避難スペース
(80㎡)はカーテン
で6室に分割可能。



○避難階段

避難支援者を想定。
4人分の幅員確保。
有効1.85m



○停電対策

ガス発電機2基で
照明、暖房の最低
限の電力を確保



○備蓄品

- ・食料 ・水 ・毛布 ・ラジオ ・簡易トイレ用品
- ・懐中電灯 ・非常用発電機 ・ガスボンベ